

# Sd.Kfz.141/2

# Pz.Kpfw.III

# Ausf.N

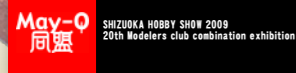
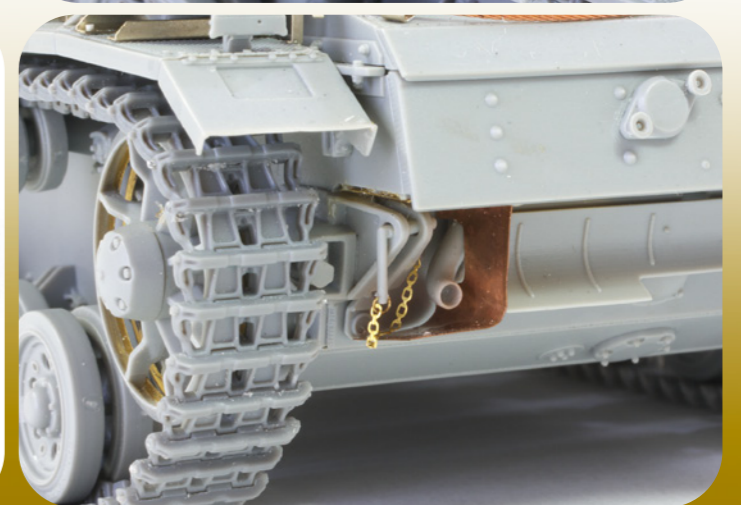
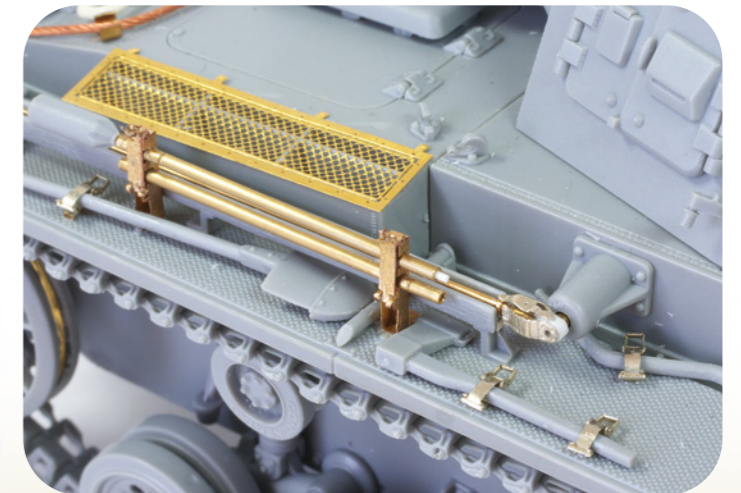
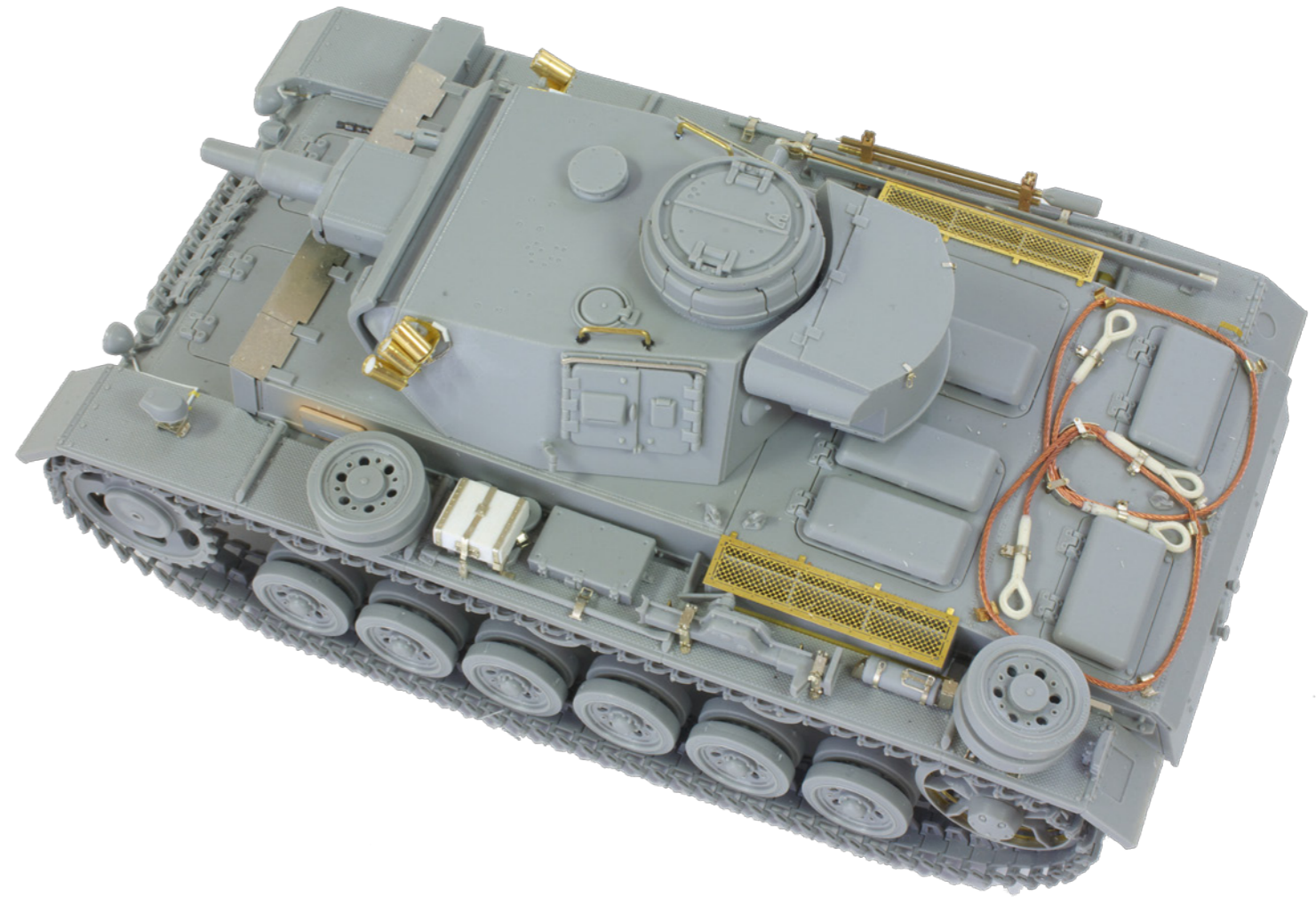
1/35 scale

cyber-hobby 6431 Pz.Kpfw.III Ausf.N (sPzAbt.501 Afrika)

ABER 35217 German Tank Pz.Kpfw. III, Ausf J/L - Vol.1 - Basic set

EUREKA ER-3517 Towing cable for German Pz.Kpfw.III Ausf.G-L Tanks

Modeling by Kunihito Kawamura



サイバーホビーの3号 N 型 501 重戦車大隊仕様を使い、特定車両ではなくアフリカ向けに新車状態で船積みされる車両を再現した。キットは細部に至るまでよく考証されモデラーが後から修正すべき箇所は殆どない。プロポーションも3号戦車らしさを余すところ無く伝えている。モールドもシャープで美しく、突き出しピン跡が残らないよう外ダボ方式にするなどモデラーへの配慮がなされている。そうは言ってもインジェクション成型上再現が困難な箇所は残るので、市販エッチングパーツを利用するなどしてディテールアップしてみた。このような目的にぴったりなのが ABER の 35217 3号 J/L 用エッチングパーツだ。工具留め金具など最小限のパーツ構成で使いやすい内容だが、ワイヤー留め金具の一部が不足している。砲身クリーニングロッド収納金具や砲塔スモークディスチャージャーは含まれないから、別途 Voyager Model の ME-A055 Cleaning Rod for Stug III と ME-A007 Smoke Launch を用意するとよい。この作品では自作パーツやジャンクパーツで補った。

牽引ロープには EUREKA ER-3517 Towing cable for German Pz.Kpfw.III Ausf.G-L Tanks を使用。柔らかいケーブルは癖を付けやすく手軽でお薦めだ。履帯はキット

付属のマジックトラックを使うが、塗装や組み立てを考えると可動式の方がやりやすいので、トラッカー一つ一つに穴を開けて連結ピンとなる針金を通して可動式に改造した。この作業は面倒極まりなく決してお薦めできない。やはりお金を出して市販の連結可動式履帯を購入すべきと実感した。

塗装は汚し無しで綺麗な状態を再現した。あえて AFV モデルにありがちな影付けや汚いウェザリングをやめて、博物館やイベントのカラー写真で見られる平坦な実車のイメージを表現している。しかし、基本色塗りっぱなしでは流石におもちゃっぽく見えるので、極薄くドライブラシとウォッシングを施した。勿論、新車状態なのでチッピングなどのダメージ表現は入っていない。履帯は工場野外でストックしている写真があるので、もっと錆びた感じにした方がリアルだったかもしれない。また、新車らしい雰囲気を出すため、ロードホイール内側をレッドプライマー色を目立たせてみた。実車のカラー写真にもロードホイールがレッドプライマー色に写っているものがあるので、まんざら架空とは言えないだろう。さらに主砲や機銃には保護カバーを装着した状態に仕上げている。

Pz.Kpfw.III  
Finisher, Kunihito